

あなたの疑問にお答えします。市政と市民のほほえみキャッチボール。

不在者投票の封筒に署名するのはなぜ？

Q 市長選挙で不在者投票をしました。そのときに、投票用紙を入れた封筒に名前を書きました。しかし後で、不安になりました。名前を書いたことで、だれに投票したかが、すぐ分かってしまっているのではないかと心配です。そういう心配はないのでしょうか。

A 不在者投票は、候補者名を書いた投票用紙を内封筒に入れ、これをさらに外封筒に入れます。その外封筒に、投票者が署名をすることになっていきます。これは、投票者が投票当日に、死亡・失権していないかどうか、確認をするためです。

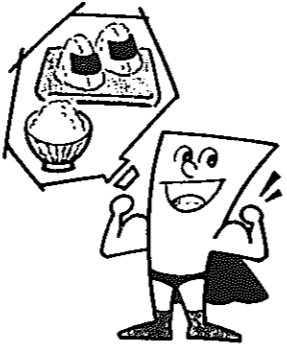


不在者投票の封筒は、選挙管理委員会で保管し、投票日に投票者の属する投票区の投票所に届けられます。投票所の投票管理員は、投票者が死亡・失権していないことを確認後、投票立

会人の意見を聞いて、受理の決定をします。投票管理員が受理した不在者投票の封筒は、投票箱を閉鎖する前に、投票箱へ入れられます。まず、外封筒を開いて内封筒を取り出します。内封筒は直ちに混同され、開封して投票用紙を取り出します。投票用紙は直ちに投票箱へ入れられます。以上のように、どなたがどの候補者に投票したかどうかは、分からない仕組みになっています。ご安心ください。

広げ、健康家族

保健センター (0373-4300)



日本型食生活の勧め

健康志向の高まる中、コメを中心とした日本型食生活が見直されています。

①日本型食生活とは 言い換えれば日本独自の「バランス型食生活」。日本人の嗜好、食環境、民族性を踏まえた上で、健康をつくり上げていくのに最も好ましい食生活をいいます。くれぐれも「昔前の」飯、漬物、汁の食事ではないことに注意を！

②日本人の食生活の問題点は現在の日本人の食生活は世界的に見ても優れています。しかしこれはあくまでも平均の話。個々に見ると大きなばらつきがあり、安心は禁物です。特に脂肪摂取量の増加、カルシウム不足、塩分過剰などが問題です。

- 1 エネルギーの取り過ぎを避け、適正体重の維持に努める
- 2 多様な食物をバランス良く食べる
- 3 コメの基本食糧としての役割を見直す
- 4 牛乳の摂取を心掛ける
- 5 脂肪、特に動物性脂肪の取り過ぎに注意
- 6 塩や砂糖の取り過ぎに注意
- 7 緑黄色野菜や海藻の摂取に心掛ける
- 8 朝食をしっかりと取る

食生活を維持することが大切です。主食にはコメを、主菜には沿岸近海の魚介類を、副菜には地場野菜をできるだけ利用するなどして、さらに次の事項に注意しましょう。

【日本型食生活の基本】
1 エネルギーの取り過ぎを避け、適正体重の維持に努める
2 多様な食物をバランス良く食べる
3 コメの基本食糧としての役割を見直す
4 牛乳の摂取を心掛ける
5 脂肪、特に動物性脂肪の取り過ぎに注意
6 塩や砂糖の取り過ぎに注意
7 緑黄色野菜や海藻の摂取に心掛ける
8 朝食をしっかりと取る

広報クイズ 47

今月の問題

- 下水道基本構想では、2種類の事業種別を構想。それは公共下水道と何でしょう？
A 農業集落排水施設 B 合併処理浄化槽
C コミュニティ・プラント (ヒント=5ページ)
- 宮川大助さんが食べて、メロンみたいと言った食べ物は？
A スイカ B リンゴ C 洋ナシ (ヒント=6ページ)
- しろね大風と歴史の館がいよいよ着工。完成はいつの予定でしょう？
A 平成5年 B 平成6年 C 平成7年 (ヒント=3ページ)

応募の方法

はがきに答えの記号(例●一A)、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。

□あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係 □締め切り 2月15日(用必着) □抽選 2月16日(火)に市役所に来られた人に抽選していただきます □発表 3月1日号

当選おめでとう (敬称略)

【500円の図書券】▶阿部鈴子(中山)▶山田恵(茨曾根)▶斎藤陽子(日の出町)▶平野忍(南新町)▶神山明美(白根)

【県立自然科学館招待券】▶早藤健(白井)▶古寺福江(中央通)▶吉沢茂之(東萱場)

応募はがきから

○僕は水泳が好きです。でも白根にはプールがありません。昨年は味方のプールへ行きました。早く白根のまちにもプールができて、冬でも泳ぐことができるといいなあと思います。寒くなるとこのまちは遊ぶ所がなくなるのが残念です。(12歳)
○毎月のイラストがと〜っても待ち遠しいです。クロスワードを作ってほしい。(12歳)



抽選は1月19日に、市役所で保倉和明さん(新潟市)にお願いしました。先月号の正解は●C●A●A。応募総数は31通で、全問正解は30通でした。

市立図書館

今月の受け入れ図書

▶開館時間 ※第2・4月曜、祝日は休館
月・水・木・土・日曜日
.....午前9時~午後5時
火・金曜日.....午前9時~午後8時
▶貸し出し 1人1回4冊以内で、2週間借りられます。

今月の一冊

▽噴野の妻(三浦哲郎)▽そこに僕はいた(辻仁成)▽男の流儀(諸井薫)▽私説東京放浪記(小林信彦) ほか多数

生涯学習

地域への生涯学習

昨年十月二十二日にカルチャーセンターで行われた「生涯学習を考える集い」から、今月は新潟大学教育学部教授の斎藤勉氏の講演を紹介いたします。

認め合い 支え合う地域社会

日本の三十年後の姿は真つ暗である。高齢化による寝たきり老人の増加、出生率の低下による子供の減少など、不安材料ばかりである。寝たきり老人は諸外国にはいない。日本の文化や文明が作り出した病気である。寝たきりになれば、本人も家族も生きがいが吹き飛んでしまう。こうした先行きの不安を現代社会の中で、その解決策として、



▲斎藤 勉新潟大学教授

生涯学習の大切さが認識されている。生涯学習とは自己実現であり、みんなが頑張れる社会の実現を目指すものだ。だれかの犠牲で頑張れるのではなく、みんながみんな自分自身で頑張れる社会だ。そして、一人ひとりの頑張りが、地域の連帯感につながるものでなければならぬ。現代社会は、地域の結びつきや連帯感をなくす方向で動いている。お金さえ出せば、電話一本でさまざまなサービスが受けられるためだ。しかし、日々の暮らしの中で頼りになるのは、仲間と近所の人たちである。最後には、地域に依存することに気付くことが大事だ。さまざまな地域の催しがなくなっている中で、地域の連帯感を育てるにはどうするか。地域の人と、どれだけコミュニケーションがあるかだ。それには、地域の人たちお互いが認め合い、支え合うことだ。認め合うこととは、悪いことを言わないこと。例えば、髪を染めている男の子を見て「おつ、いいね」と言える地域であること、認め合える地域であることが大切なのだ。